

＼ 私たちも応援しています!! ／



藤條たかゆき

多摩市議会議員
東京若手議員の会代表

矢口さんは、自身の子育ての経験から、おかしかったことを放っておかず、自ら変える為に議員になられました。子ども達の事故を減らしていく為に、超党派の議員連盟も立ち上げ、いまでは全国に80名程の同志がおります。町田市の子育て政策の先頭に立ち、日本中にそれを広げていくことのできる熱いハートを持った女性です。



高橋元氣

中央区議会議員
あたらしい党代表

以前の私は、政治の世界は本気で人のために仕事をする議員が少ないと絶望していましたが、矢口さんは違いました。子どもたちの命や権利を守るため、子育てに苦しむ親のため、全力で取り組んでいます。目をキラキラさせ、これを実現したい! 町田を変えたい! と話す姿勢に感動し、このような議員がいた事に誇りを持ってました。



三次ゆりか

江東区議会議員
あたらしい党政調査会長

矢口さんは、困った人や弱者を救いたい思いが強く、行動できる方です。超党派の活動を中心にともに仕事をしてきましたが、頼り甲斐もあり、情報発信もし、仕事も真面目。だけど子ども達の時間も確保し、オンオフができてるところもステキです。仕事ができるが故、頑張りすぎなので自分のことも大事にしてほしいです。



松本みつひろ

杉並区議会議員
子どもの事故予防地方議員連盟
事務局長

「議員になったら、こういう取組をしたい」ではなく、「こういう取組をしたい!」が先にある「手段としての議員」。こういう議員を増やさなくては、政治が世の中を変えることはできないと感じます。事故予防を筆頭に、この国の子ども達が自らの考えを堂々と主張し、生き抜く力を培っていくために、矢口さんが必要です。



吉村洋文

大阪府知事
日本維新の会副代表



音喜多駿

参議院議員
日本維新の会政務調査会長

発行：矢口まゆ後援会/080-3712-1002
yagumayu7915@gmail.com
発行日：2022年1月

公式サイト
& ブログ



Twitter



産みやすい、
育てやすい、
育ちやすい町田へ



矢口まゆ

32歳、町田市議会議員。北海道出身、二児の母。南町田在住。自身が立ち上げた子どもの事故予防地方議員連盟がマニフェスト大賞優秀賞、第4回 SafeKidsAwardを受賞。プレゼン資料を駆使した、これまでにない独自の議会提案スタイルと政策実現の実績がマニフェスト大賞エリア選抜に選出。

Challenge

矢口まゆ

2022.2.13 日 町田市議会議員選挙告示!

YOUはどうして政治家に？

町田から
日本の子育てを
変えるために
2期目に挑戦

✓ 選挙に行かない、政治無関心層でした



実は、つい5年前まで私も政治に無関心でした。地元の北海道を離れての「孤育て」に苦労しましたが、子育ての問題と政治は、当時の私には全く結びつきませんでした。

✓ 問題に気が付いたら、見過ごせない！

ところがある日、自身の子育てを通して保育園の安全対策について疑問に思うことがあり、今の政治は選挙権のない子ども達の目線が足りていないと感じました。自らが議員となり、この町田市から全国の子どもたちやその保護者を取り巻く環境を変えていくことを決意しました。

しがらみなく戦うため、無所属で立候補し当選。あれから4年が経ちました。

✓ 町田から日本を変える4年にしたい

4年間市議として様々な問題を見つけ、解決の提案を行い、実際にたくさんのことを変えてきました。ですが、これらは大概町田市だけの問題ではありませんでした。また、どうしても市独自に取り組むのはハードルが高い政策もあり、国が統一指針を示す必要があるのにとヤキモキすることも非常に多かったです。そこで、次の4年は、本気で政治家として国を動かす一人となる覚悟を決めました。

✓ 日本維新の会への入党を決意

日本維新の会は、企業や団体から寄付を受けず、しがらみに左右された政治判断など言語道断という、私の政治信条にピッタリの政党です。党役員会のオンライン公開など、オープンな党運営は、「政治家は隠された場所で話し合うと正しい判断ができなくなる」と考える私には、最高の環境です。日本維新の会には、超党派で共に仕事をする機会が多く、心から尊敬する松本杉並区議、藤條多摩市議もおり、この方々となら維新の会を通して国をも動かしていけるのではと、1人の有権者として支持してきた日本維新の会への入党を決意しました。

✓ 勇気と責任のある政治判断をして参ります

自分や身内の利益を優先し正しい道を選べなくなった時、選び続ける自信がなくなった時、私は議員を辞めようと決めています。引き続き、誰に媚びることもなく「最小の経費で最大の効果」をあげること(地方自治法第2条)かつ「投票権のない子どものための政治」をど真ん中にかかけ、勇気と責任ある議員活動を続けて参ります。



✓ 入党後の、議案への議決態度について

日本維新の会は、地方のことは各地の事情を踏まえて地方議員が判断していくべきと考える地域政党であり、今後もこれまで通りに自らの意思で議案への賛否はもちろん、議員としての活動を行って参ります。なお、日本維新の会では、これまで、議員や公務員の身分保障(給与や報酬に関する議案)以外は、党としての判断が下りることはありませんでした。今後も、是々非々で歩み続けます！

次の4年、町田市6つの五・七・五

その他、全49個の政策提言!

くわしくはコチラ

小中学校23個! 保育、医療ケア児、障がい児7個!
妊娠・出産、子育て9個! 行財政・議会改革7個! その他多数!!



1 義務教育 なんてこんなに 金かかる!



憲法で義務教育は無償とされていますが、実際には標準服等の購入で中学入学時に10万円以上家庭の負担が発生する学校も…。経済的に困っている家庭が利用する就学援助の入学準備金は6万円。生活保護でも8万1千円のため、数万円単位で足りない事も珍しくありません。冬のセーターや夏のポロシャツも、高額な指定品でなくては着用不可とする学校もあります。被服費はじめ、保護者負担費の削減を進めます!

2 加害者の ためにも いじめは「出席停止」!



いじめ加害者である児童生徒の保護者に対し、市教委は「出席停止」を命ずることができます(学校教育法第35条)が、全国的にこの対応は避けられる傾向にあり、加害者が出席停止にならないことで、被害者側が学校に行けなくなったり、転校を余儀なくされています。取り返しのつかない事態の発生を防ぐためにも、持てる権限を全て行使した厳しい対応を求めます!

3 中学生 みんなが喜ぶ 給食に!



2024-25年度に、順次新方式の全員給食(各教室で盛り付け配膳)に!ですが、それまでは現在のデリ弁給食が続くため、喫食率の低さが課題のデリ弁改善への取り組みも必要不可欠。冬に低くなるおかずの温度、配膳の手間と時間、ご飯の量が選べないと言った課題の解決はもちろん、新方式移行前でも配膳室の整備が済んだ学校からデリ弁での全員給食実施などを求めます!(牛乳の有無選択は矢口の提案が実り4月から実現予定!)

4 預け先 なくて辛いよ 乳幼児!



もしもの時に頼れる親や親族がいない中での子育ては、大変辛いものです。全ての子育て家庭に「何かあったらここに頼れる」という場所や人が必要です。ベビーシッター利用への補助、一時保育のオンライン予約化などで解決しましょう! こうした保育サービスの充実は、「川上からの虐待防止」にも効果的。(川上からの虐待防止については「子どもの虐待はなくせる!」(けやき出版、共著)にも執筆しております!)

5 もっと産め? 上の子どうする 妊産婦!



「二人目も欲しいけれど、陣痛が来たときにすぐに駆けつけて上の子を見られる人がいないから、上の子が大きくなってから妊活しようかな…。でも、その頃には年齢的にも妊娠しにくいかも…。」このような理由で第二子以降の妊娠を躊躇したり、諦めたりする家庭は珍しくありません。頼れる親族がいない人も、里帰りできない人も、安心して妊娠出産できるような仕組み作りが必要です!

6 待機ゼロ 保育の質も 譲れない!



土地のない南地域などでは、園の新設ができず待機児童解消が困難…。都が全額費用負担してくれる待機児童向けのベビーシッター利用補助を、町田市でも導入すべき! また、待機ゼロは保育の質が担保されている前提のお話。私の提案後、市で作成を進める保育の質についてのガイドラインの活用や、無通告での立ち入り調査含む指導監査体制の強化など、矢口が立ち上げた子どもの事故予防議連も活用しながら取り組みを進めていきます!

無所属、無会派、最年少だったのに…。

自分でも
びっくり!

70個を超える 政策実現!

- 1 ショートステイ・ワイライトステイ保育を、0~2才で新たに開始! 2才以降では、タクシーによる送迎事業開始!
- 2 援助会員宅限定だったファミサポが、子どもセンターや子どもの自宅などでも利用可能に!
- 3 PTAは入会の意思確認が必要な事、非会員を差別してはならない事等を教育長から全校に通知!
- 4 暑さ対策、下着の透け対策のためにも、中学生のポロシャツ着用許可を求め、4校→全校許可に!
- 5 校則、学校のきまり等、全小中学校でのホームページ公開が実現! 地域にひらかれた学校へ!
- 6 オンラインでの妊婦面接が可能に! 母親学級も地域開催に! (担当課にて準備中)

小中学校関連33個! 保育園、幼稚園関連11個! 防災、地域支援関連8個! 議会改革、行政改革関連4個!
妊娠・出産、子育て・医療的ケア児・障がい児(者)関連13個! 他に、全国規模での実績も!

70を超える
主な実績公開中



政策提言力、実現の実績が
マニフェスト大賞にて
エリア選抜に選ばれました!



全国をフィールドにしてきました!
子どもの事故予防なら任せんしゃーーい!!

矢口まゆが立ち上げた、子どもの事故予防地方議員連盟。
2年が経ち、全国約80名の地方議員の組織となり、活動も評価されています。



マニフェスト大賞
優秀政策提言賞



SafeKidsAward
特別功労賞受賞



活動レポート



超党派の児童虐待防止PTにて副座長を務め、書籍を出版



左記の書籍を、小池都知事に提言として寄贈しました



子どもの事故予防議員連盟の設立総会



地方議員むけのセミナーにて講師をつとめました



2021年10月、いい風起こせました



議連の活動はメディアでも取り上げられてきました(食品新聞)



子どもの事故予防と政治について、京都で講演



矢口が事故予防について問題提起したことがトップニュースに



コミケにて演説。表現の自由を守るための約束に賛同しています